

野々市町の

住民登録を促すキャンペーン

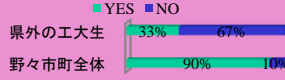
問題点の存在主観立証

野々市町の住民登録者数が少ない

単身赴任者、大学生が多いのでは？と思われたが、役場の人「面倒に思う人が多いから？」と言っていました。そこで工大学生への聞き取り調査を行った結果 住民登録を「面倒である」と答えた人は90%だった。つまりこの問題の原因は工大学生にあったのだ！！

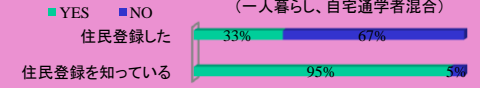
問題点の存在客観立証

住民登録した割合



一人暮らしの工大学生の登録率の悪さが分かる。

住民登録した工大学生の割合と認知度の比較



住民登録を知っているのに登録していない人が多い

解決要望の存在立証(役場)

平成22年の国勢調査までに野々市町にいる人の数と住民登録をしている人の現在の差を埋め、完全な市にしたい。(町から市になるには5万人必要)
2008年現在、野々市町にいる人の数は5万人になるが、住民登録をしている人の数は5万人にならないおそれがある。よって、**住民登録している人の数**を増やしてほしい。



主要な特性値と現状値

一人暮らしで住民登録をした工大学生の割合は33%

一人暮らしの工大学生の住民登録者の割合を**60%以上**にする

(この値は、自己判断によるもの)

問題点の確認

- 住民登録をしていない人が約5千人いる。
- 住民登録をしていない人に多いのが金工大学生である。
- 住民票を登録することが面倒、また**メリットが見えない**から登録していない人が多い。

野々市役場での確認

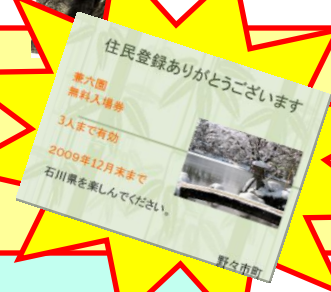
- 今年から金沢工大でも住民登録できるようにする。
- 野々市町と金沢市が協力して住民登録システムを作る。
- 登録期間 3月30日～4月3日
- 時間 9時～17時まで

考えたアイディア

- 住民登録する人に関わる法律を教える方法(プリント等)
- 登録した人に野々市町の商店街等で使えるサービス券発行。
- 学校で登録できるシステム
- のっぺいの割引システム
- 登録できる場所を増やす

解決方法

登録した人に**観光地の料金を割引**できる券を渡すサービス



解決策の紹介

金沢の名所を**割引価格**でまわることができる。「歴史都市第1号」とった金沢を入学したでの学生、両親は、まわりたいたいのではないかと考えた。

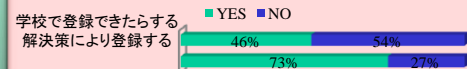


解決策のメリット

学生に興味なくなっても家族など複数の人を連れていけるようにして興味のある人も観光することができるので同時に町おこしにもなる。

解決策の合理性の実証

解決策を行うことで住民登録するか否か



2009年 2月 4日 一人暮らしの大学生 学校より

この解決方法は実現できるの？

解決策の受諾性の実証(役場の横浜さん)

1月30日(金)役場での議決の調査による報告より

- 観光に関して金沢市と提携してそのようなサービスを提供することは「**不可能ではない**」と言った。
- 役場の人に**100%可能**であると言わせるのは、無理であることは考慮してもらいたい。

解決策の受諾性の実証

- サービスを受ける立場なので工大学生にもその親にも**受け入れられる**と考える。
- 学校は、すでに役場からの住民登録の出張所を**受け入れている**。
- 転出証明書に関しては、チラシに持参を呼びかけ学校案内に入れるので、問題ない。



金沢工業大学
2008年度 工学設計 II
プロジェクトテーマ: 住民登録を促すキャンペーン
クラス番号: HM302
チーム番号: 3
チーム名: だるま
チームメンバー: 中山大地 樋口典下 藤井聖彰
古田悠斗 宮川真輔 多田康祐
担当教員名: 松本重男